

たいけん とお まな しょきゅうにほんごこうざ
体験を通して学ぶ初級日本語講座

Japanese Course (Beginner's Level)
Learn through activities

お りよう
無料
FREE!

にちじ ねん がつ にち ねん がつ なのか まいしゅう どようび
◆日時: 2019年11月23日－2020年3月7日 毎週 土曜日

November 23th, 2018－March 14th, 2019 Every Saturday

1:00pm－4:10pm

ばしょ
◆場所: さぽうと21 (目黒駅 東口徒歩3分)
At Support 21
(3 minutes walk from Meguro Sta. East Exit)



まな
◆ 学ぶこと What We Learn ◆

このコースでは、「街めぐり」「日本人とおしゃべりタイム」「防災センター体験」「料理」等の体験をする中で、「生活に必要な日本語力」を身につけ、コースが終わるまでには「自分の力で日本語を使って行動できる勇氣」をもてるようになることをめざしています。

The goal of this class is to encourage students to use their own Japanese language skills in daily experiences. To help build those skills, this class will focus on language needed in everyday life and will include such activities as city excursions, a visit to the Disaster Prevention Center and cooking lessons, speaking opportunities with Japanese and much more.

にほんご う ひと はや れんらく
この日本語クラスを受けたい人は、さぽうと21に早めに連絡してください。

If you're interested in this class, please contact Support21 as soon as possible.

TEL: 03-5449-1331 / E-mail: info@support21.or.jp

しゃかいふくしほうじん

社会福祉法人 さぽうと21 Support21 Social Welfare Foundation

とうきょうと しながわく かみおおさき
〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2 ミズホビル 6F

Mizuho Bldg. 6F, 2-12-2 Kamiosaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021

ぼうさいかん 防災館 へ行こう！

が つ に ち ど
6月15日（土）

い け ぶ く ろ ぼう さい かん
@池袋防災館 (い け ぶ く ろ え き ある 5 ふ ん
池袋駅から歩いて5分)

※写真※

けむり
【煙】

※写真※

きゅうきゅう
【救急】

※写真※

しょうか
【消火】

※写真※

じしん
【地震】

さん か もう し こ し ょ
参加申込み書

が つ つ い た ち だ
！！6月1日までに出示してください！！

● 9：00・12：30 ※○をつけてください

● 名前： _____

● 大人・高校生・中学生・小学生・小学生未満 ※○をつけてください

● 緊急連絡先電話番号： _____

ひ がつ にち と
日にち : 6月15日(土)

じ かん
時間 : 9:00 ~ 11:30

しゅうごう ば しょ いけぶくろほうさいかん しんぱい ひと そうだん
集合場所 : 池袋防災館 ※心配な人は相談してください

こま でん わ
困ったときは、080-1123-2121 に電話してください



※池袋消防署と同じ建物です。防災館受付は、4階にございます。

ひ がつ にち と
日にち : 6月15日(土)

じ かん
時間 : 12:30 ~ 15:00

しゅうごう ば しょ いけぶくろほうさいかん しんぱい ひと そうだん
集合場所 : 池袋防災館 ※心配な人は相談してください

こま でん わ
困ったときは、080-1123-2121 に電話してください



※池袋消防署と同じ建物です。防災館受付は、4階にございます。

【2019 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

地域日本語教室ボランティアのための 活動基礎講座

ボランティア教室で活動を始めたばかりの皆さん、「日本語学習支援って何だろう」とか「外国人の学習者と楽しく時間を過ごせるのだろうか」とか、様々な不安をお持ちではないかと思います。そんな不安を抱いている方々のために、皆さんの日々の活動がより実り多いものになることを願って、昨年度に引き続き、「地域日本語教室ボランティアのための 活動基礎講座」を行います。皆様、ぜひご参加ください。

開催日	各回のテーマ・講師 ※内容については一部変更の可能性あります。	
	午前 10:00-12:00	午後 1:00-3:00
1 6月16日 (日)	B 1 ★ 「地域での日本語教育の実践」に学ぶ —「にほんごのへや」(さいたま観光国際協会)— 松尾恭子 (「にほんごのへや」アドバイザー)	A 1 ★ 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」 松田デレク (お茶の水女子大学国際教育センター)
2 7月7日 (日)	B 2 ★ 「特定学習者層への日本語教育」を知る 「技能実習生への日本語教育を知る」 栗又由利子 (きぼう国際外語学院)	A 2 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」 東京都行政書士会品川支部
3 8月4日 (日)	B 3 「やさしい日本語」って？」 岩田一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 3 「異文化を理解する」って？」 田中美穂子 (社会福祉法人さぽうと21)
4 9月1日 (日)	B 4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 岩田一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 4 「上手な聴き手になるには？」 大瀧敦子 (明治学院大学社会学部社会福祉学科)
5 10月27日 (日)	B 5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」 岩田一成 (聖心女子大学現代教養学部日本語日本文学科)	A 5 「外国人からの相談を受けたら？」 新居みどり (NPO 法人国際活動市民中心 (CINGA))

※A 1, B 1, B 2 (★) の講座については、過去に本講座ご受講の方も受講可能です。

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動を始めて間もない方 25 名

■会場：社会福祉法人さぽうと21 6階会議室

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

JR 山手線「目黒駅」東口より徒歩 3 分／メロ「目黒駅」正面口より徒歩 5 分

■申込方法：裏面申込書に必要事項をご記入の上、メール、FAX のいずれかでご提出ください。先着順にてお受けします。
当会ホームページ上からはメールフォームでのお申し込みも可能です。



主催：社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さぽうと21 は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。

【B】 キーワード「地域日本語教育」「実践」	【A】 キーワード「多文化共生」「外国人住民」
B 1 (毎回講師が変わります) 「地域での日本語教育の実践に学ぶ」(地域の日本語教育に関わる方の実践を聞き、活動の広がりや面白さ、課題を共に考える) ※できる限り、学習当事者からもお話をいただく	A 1 (毎回講師が変わります) 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」(「多文化共生社会日本」の現状や課題を知り、地域日本語教室に期待される役割を考える)
B 2 (毎回分野が変わります) 「●●への日本語教育を知る」(「特定分野の学習者を対象とした日本語教育(日本語学校、技能実習生、介護人材など)」を知り、地域日本語教室の果たすべき役割を考える) ※できる限り、関係する学習者にお越しいただき、お話をいただく	A 2 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」(「在留資格」についての基本知識を学び、在留資格により日本に暮らす外国人にどのような可能性と拘束が生ずるのかを知る)
B 3 「やさしい日本語って？ (外国人とのやりとりに必須の「やさしい日本語」について、その必要性を確認しつつ、「やさしい日本語力」を身につける)	A 3 「異文化を理解するとは？ (参加者皆でワークに参加し、「異文化を理解する」ということ、「異文化の中に身をおく」ということを実感をもって学ぶ)」
B 4 「日本語学習支援のきそそのきそ・その 1」 (地域日本語教室での活動を楽しみ、有意義な活動ができるよう、「日本語」について学び、「日本語学習支援」について考える)	A 4 「上手な聴き手になるには？」(「聴くこと」の専門家からお話を聞き、日本語学習支援に必須の「聴く力」について、その必要性を知り、「聴く力」の基礎を学ぶ)
B 5 「日本語学習支援のきそそのきそ・その 2」	A 5 「外国人からの相談を受けたら？」(「外国人からの相談にどう対応するか、しないか」を考え、あわせて外国人住民の「相談先」や「拠り所」の情報を得る)

申込書送付先

活動基礎講座 参加申込書					
【お名前】 ふりがな		【お電話番号】※ご連絡がしやすい番号の記入をお願いいたします。			
【ご住所】〒 — 都 県					
【E メールアドレス】 @					
【ご所属（ボランティア教室など）】 名称： 活動地域： 活動歴： 年 月					
●今回、参加できない回があれば、事前にお知らせください。また、ご質問等があれば、お書きください。					
●今後、当会が主催する講座のご案内やニュースレター等のご送付を希望されますか。（ はい ・ いいえ ）					

【2019 年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業】

地域日本語教室ボランティアのための 活動基礎講座 ～秋冬の回～

ボランティア教室で活動を始めたばかりの皆さん、「日本語学習支援って何だろう」とか「外国人の学習者と楽しく時間を過ごせるのだろうか」とか、様々な不安をお持ちではないかと思います。そんな不安を抱いている方々のために、皆さんの日々の活動がより実り多いものになることを願って、「地域日本語教室ボランティアのための 活動基礎講座～秋冬の回～」を行います。皆様、ぜひご参加ください。

開催日	各回のテーマ・講師	
	午前 10:00-12:00	午後 1:00-3:00
1 11月3日 (日)	A1★ 外国にルーツをもつ方からの視点で見る 「多文化共生の社会の中で、地域日本語教室に期待される役割」 下地 ローレンス 吉孝 (国士舘大学など非常勤講師)	B1★ 「地域での日本語教育の実践」に学ぶ —「東京都西東京市から」— 山辺 真理子 (NPO 法人西東京市多文化共生センター代表理事、 西東京にほんご教室代表)
2 12月15日 (日)	A2 「日本に暮らす外国人にとっての在留資格とは？」 東京都行政書士会品川支部	B2★ 「特定分野での日本語教育の実践」に学ぶ 「「介護人材」への日本語教育を知る」 野村愛 (首都大学東京オープンユニバーシティ講師)
3 1月12日 (日)	A3 「「異文化を理解する」って？」 田中美穂子 (社会福祉法人さぽうと21)	B3 「やさしい日本語」 岩田一成 (聖心女子大学文学部日本語日本文学科)
4 2月23日 (日)	A4 「上手な聴き手になるには？」 大瀧敦子 (明治学院大学社会学部社会福祉学科)	B4 「日本語学習支援のきそのきそ・その1」 岩田一成 (聖心女子大学文学部日本語日本文学科)
5 3月1日 (日)	A5 「外国人からの相談を受けたら？」 新居みどり (NPO 法人国際活動市民中心 (CINGA))	B5 「日本語学習支援のきそのきそ・その2」 岩田一成 (聖心女子大学文学部日本語日本文学科)

※A1, B1, B2 (★) の講座については、過去に本講座を受講の方も受講可能です。

■対象：地域日本語教室でボランティアとして活動を始めて間もない方 25 名

■会場：社会福祉法人さぽうと21 6階会議室

東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

JR 山手線「目黒駅」東口より徒歩 3 分／メロ「目黒駅」正面口より徒歩 5 分

■申込方法：裏面申込書に必要事項をご記入の上、メール、FAX のいずれかでご提出ください。先着順にてお受けします。

当会ホームページ上からはメールフォームでのお申し込みも可能です。



主催：社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

外国人住民と防災

～地域日本語教室ができることを考えよう～①

日本に暮らす私たちは、地震、津波、台風、大雨、大雪といった災害のことを日々心配しながら、過ごしています。それは外国人住民も同様です。

さぽうと21は、2011年3月以来、防災に関連した様々な取り組みを続けてきました。そんな中で改めて、毎週多くの外国人住民が集う「地域日本語教室」こそが、外国人住民の防災学習の拠点であると考えようになり、2019年度から文化庁委託事業として「外国人住民と日本人住民が本気で「防災」に取り組むための日本語教育展開事業」をスタートさせました。

これから発信と思っていた矢先、新型コロナウイルスに飲み込まれるように、教室活動も、イベントもほぼ中止する事態に陥りました。でも、こんな時だからこそ、「何もできない」と嘆くより、「何ができるか」を考えたいと思い、緊急 ZOOM シンポジウムの実施を決めました。

◆日時:2020年 3月15日(日) 13時～15時半

◆基調講演:「私と日本語教育と防災」

土井 佳彦さん(文化庁 地域日本語教育施策推進アドバイザー)

◆現場からの発信①～群馬県館林から～

近藤 花雪さん(社会福祉法人 日本国際社会事業団)

◆現場からの発信②～東京都品川区から～

矢崎 理恵(社会福祉法人 さぽうと21)

※お申込み:以下のメールフォームより、お申し込みください。今回は、先着20名で受付を締め切らせていただきます。

<https://forms.gle/vGgF34bB2BvtoRPQ6>

※途中退室はご遠慮ください。(休憩時間はもうけます。)

当日参加希望の方で、「ZOOM なんて、よくわからない」「できるかどうか心配」という方。当日は11時より、**トライアルタイム**を設けます。とりあえず、パソコンやタブレットの音が聞こえる状態にすること、ネットに接続することまで可能であれば、参加可能です。



主催: 社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6 階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

さぽうと21は、日本で生活する難民、中国帰国者、日系定住者とその子弟の定住と自立に向けた支援を行う団体です。